

認定NPO法人生き生きネットワーク
令和6年度事業報告書

- 「令和5年度事業報告書」
- 「令和5年度決算報告書」
「監査報告書」



目 次

◇令和5年度事業報告

はじめに「令和5年度事業報告にあたり」	P1
1. 事業部門別活動報告	P2
2. 人材育成・能力向上支援	P22
3. 理事会・総会、安全衛生委員会	P25
4. 主催行事、情報発信活動、SDGs 参加	P29
5. 会員数・利用者数	P32

◇令和5年度決算報告案

1. 活動計算書	P33
2. 貸借対照表	P35
3. 財産目録	P37
4. 財務諸表の注記	P39
5. 監査報告書	P40

① 令和5年度事業書

令和 5 年度事業報告にあたり

令和 5 年度は発足 40 周年、NPO 法人認証 25 周年を迎える節目の年となりました。この記念すべき年に、多くのご支援とあたたかい言葉をいただき、心より感謝申し上げます。記念誌の編集に際しては、記念誌委員会を設置し、多くの方々から寄稿や協賛をいただきました。また、記念式典には大勢のご臨席を賜り、あたたかいお言葉を頂戴いたしました皆さまに重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことを受け、フリーマーケット、交流運動会、バス旅行、クリスマス会などのイベントを感染対策に注意しながら実施しました。これらの行事を通じて、笑顔で触れ合う機会が戻り、各事業所の日常も徐々に戻ってきました。また、安東夏まつりにも参加させていただき、地域との交流を深め私たちも楽しめました。

5 月には新しい建物（くすくす 2 号館）の工事契約を結び、8 月に上棟式、11 月には建物の引き渡しと内覧会・開所式を行いました。そして 2 月 25 日にはこの建物で記念式典を行えました。

令和 5 年度は、これまでの活動を振り返り、見直しを図る重要な年となりました。これまでも多くの方々のご支援を受けて活動してまいりましたが、記念式典やフリーマーケットなどを通じて、今後も地域の皆さまや、関連団体の方々のお力と知恵をお借りしながら活動を続けていくことが私たちに活動・姿であると改めて感じました。

令和 5 年度は新型コロナに耐え、多くの貴重な体験を通じてスタッフも成長した年でもあります。今後も制度改正や人手不足などの課題が増えていくことが予想されますが、利用者一人ひとりの要望を大切にしながら、歩んでいきたいと思っております。

1. 事業部門別活動報告

(1) 介護保険指定事業

①居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） 契約者 68 名(要介護 40 名、要支援 28 名)

超高齢社会のなかでも、高齢者さんが自分らしく生き生きと生活できるように、地域社会全体で支えていけるよう、広い視野を持って支援させていただきます。

令和 5 年度は、新規に 16 名の方が契約され、利用終了の方が 15 人でした。

歩行障害が深刻になり、安全な生活が保たれていない独居の A さんは 3 年前から担当させていただいていますが、病院が嫌で主治医がいないため、事業対象者として週 1 回デイサービスを利用していました。令和 5 年度になりシルバーカーで近くのドラッグストアに出掛け、帰りは歩けなくなりシルバーカーに座り足で進みながら自走し道路の真ん中で止まっては車を渋滞させ見かけた人が助けてくれる、を繰り返していました。民生委員さんや近所の方からも「危ない、何とかしないと」という相談を受けていました。介護保険サービスを受けるためにケアマネから受診を勧めても強く拒否されることが続き、3 月に城東地域包括の看護師さんにも同行してもらい、みんなで受診を促しようやく A さんが承諾され、整形外科に受診し介護申請を受け、要介護 2 の認定が下りました。しかしその後も自分の生活は自分で決める、自分は困っていない、という A さんの意志が強く、新しいサービスを導入できない状況は続いています。それでも地域で A さんを見守っていくという連携が構築できた 1 年となりました。今後も A さんの安全・衛生が保たれるよう支援していきます。

その他、幻聴の症状で「隣人が 24 時間大音量で音楽を流している、警察に通報して欲しい」と訴えのあった B さんの事例では、地域包括支援センターに相談し、後のトラブル防止のため交番にも連絡を取り事情を説明しました。

ケアマネット協会のステップアップ研修として参加したスーパービジョン講座では、事例を基に利用者・家族・ケアマネの置かれている状況を整理するための臨床像を描き分析し、ケアマネ（スーパーバイザー）が抱えている問題等を主任ケアマネ等のスーパーバイザーから助言をもらい、ケアマネ自身がバックアップ体制を構築する大切さを学びました。

<居宅介護支援>		令和 4 年	令和 5 年
ケアプラン作成(件)	要介護	473	491
	要支援	299	311
	計	772	802
相談件数		23	20
認定調査件数		45	5



ケアマネジャーです



毎月の状況を詳しく聞き取りします



②訪問介護事業所

契約者 27 名（要介護 10 名、要支援 17 名）

真心と思いやりを持ったサービスで、皆さまが「笑顔で自分らしく」暮らしていけるようにお手伝いさせていただきます。

令和 5 年度は、新規契約の方が 12 名、利用終了の方は 10 名でした。終了の理由は家族と同居する、24 時間サービスが必要となった、などでした。

要支援から要介護に認定が変わった方が 4 名おられました。要介護になったことで支援回数を増やし、在宅で安心して暮らすことができます。

去年は、地域包括支援センターから支援の依頼をいただきました。依頼をお受けしたなかには、家庭の事情でお孫さん 2 人を養子縁組して子どもとして育てながら、生活をされていた 80 代 A さんと契約をしました。お孫さんは 2 人とも知的障がいがあり、A さんもとても苦勞されていました。介護保険と障害福祉を併用してサービスに入ることによってなんとか生活をしていましたが、半年後 A さんの持病が悪化しご逝去されました。介護保険の事業所だけでなく、障害福祉や生活支援課、子育て支援課等、密に情報交換をすることで、増える要望にも柔軟に対応することができ、短い期間でしたが中身の濃い支援となりました。

視覚障害をお持ちの方でヘルパーの訪問時に起き上がることができず倒れていて、救急搬送の対応をさせていただいたこともありました。通院する事への拒否が強くあり受診を促している方でした。幸いにもすぐに回復し、症状も落ち着いて在宅に戻ることができましたが、回復後も定期通院などは拒否が見られます。他にも通院を拒否される方おられますが、利用者さんの気持ちを考えると無理強いすることはできず、支援者側としては心配ですが訪問時体調確認を行い、小さな変化を見逃さないように今後も支援に入っていこうと思います。

<訪問介護>	令和 4 年	令和 5 年
要介護（人）	15	14
要支援（人）	17	23
利用者数（人）	32	37
要介護（件）	1,193	741
要支援（件）	1,281	1,596
件数（件）	2,474	2,337



書類のサインをいただいています



隅まで綺麗にお掃除をしてくれます



ヘルパーさんと打ち合わせ中

③地域密着型通所介護・通所介護相当サービス「うめの木」

(喜楽庭 定員 15 名、契約者 11 名)

利用者さんが持っている力が発揮でき、機能の維持向上が出来るように支援します。ひとりひとりが主役になれる活動をしていきます。

令和 5 年度はコロナ禍を超えて、ようやく他事業所と交流したイベントができ、喜楽庭らしい賑やかさを感じることができました。庭の梅の木に刺したみかんをついばみに来る小鳥を眺め、庭で遊ぶ子ども達を眺める、そんな穏やかな喜楽庭でした。

車椅子の方が増えましたが、公園へ季節の花を見ながらお散歩に行き、公園内で車椅子を降り、下肢筋力低下を防ぐためにご自分の足でお散歩していました。あたたかな陽ざしや新緑を肌で感じることで「気持ちいいねえ」と会話が弾みました。

高齢化に伴い、合併症を併発する方が多く、救急搬送を余儀なくされた方がいらっしゃいました。酸素ボンベを持参する方などもおり、医療的ケア度が上がりました。看護師や生活相談員等スタッフ一丸となって相談し合う事で落ち着いて過ごすことができました。

入浴介助時、利用者さんに怪我をさせた事故がありました。事故について原因究明と再発防止策をスタッフ間で話し合い、環境整備を行いました。今後も利用者さんの特徴を把握し、安心安全にて気持ちよく入浴していただけるよう努めていきます。

<地域密着型通所介護>	令和 4 年	令和 5 年
利用者数 (人)	11	11
件数 (件)	1, 280	1, 328



喜楽庭運動会の様子



大道芸に行きました



クリスマス会のひとこま



なんじゃもんじゃ
キレイに咲きました



習字お上手です



ゲームに集中

④訪問看護ステーション事業所「あんどろ」

(契約者 21 名)

※介護保険指定事業所、医療保険指定事業所

子供から高齢者さんまで一人一人が安心した在宅生活が送れるように主治医の指示のもと訪問し支援しています。

令和 5 年度は 4 名の新規契約があり、4 名が契約終了となりました。新規の方のうち 2 名が医療保険、2 名が介護保険の方です。契約終了は 4 名とも介護保険の方で、3 名が施設入所され、1 名はサービスの変更に伴う契約終了です。その方は定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用されていました。持病が悪化し主治医から施設入所を勧められましたが、「お家にいたい」というご本人の希望とご家族の希望により看護小規模多機能型居宅介護の利用になったため、サービスの終了となりました。

静岡市難病患者等介護家族リフレッシュ事業と医療的ケア児就学支援事業の利用希望がありませんでした。依頼があれば受けられるよう準備はしていましたが、年間を通して相談もありませんでした。今後依頼がない原因を探りながらいつでも対応できる準備をしていきます。

リハスタッフの補充も積極的に行いたいと考えていましたが、依頼が以前よりも少なく現在所属しているスタッフで対応できている状況です。今回の介護報酬の改定で、要支援の方の訪問看護ステーションで行うリハビリはかなりの減算になりました。制度上訪問看護へのリハビリ自体が減少傾向にあるように思います。

長期で訪問している方が 101 歳の誕生日を迎えました。昨年の夏から週 3 回の点滴を施行しています。実際、必要な医療行為が悩むこともあります。ご本人とご家族の希望があり、続けています。「このおかげで元気でいられる」と喜んでいらっしゃいます。今後もご家族とご本人の希望に寄り添い支援していきます。

<訪問看護>		令和 4 年	令和 5 年
介護保険	利用者数 (人)	14	13
	件数 (件)	756	804
医療保険	利用者数 (人)	9	8
	件数 (件)	296	385
リフレッシュ事業	利用者数 (人)	1	0
	件数 (件)	37	0



101 歳になりました



カーネーションをたくさん作って飾りました



訪看あんどろです♪

(2) 総合支援法指定事業

①居宅介護、重度訪問介護、同行援護

<居宅介護>

(契約者 29名)

知的障がい・身体障がい・難病の方が利用されています。居宅介護のなかに身体介護と家事援助があります。身体介護は入浴、排せつ、食事の介助など直接介助する支援で、家事援助は掃除、洗濯、調理などの支援になります。

令和5年度は様々な方々の居宅介護に携わってきました。視覚障がいや難病の方々のそれぞれのニーズに合わせたサポートを提供してきました。

特に、再犯服役後に中途失明された方の支援について、自立したいという意欲を持ちながらも受けてくれる事業所が見つからない時に、生き生きの支援が大きな役割を果たせたのではないかと思います。現在、一人暮らしをして就労B型事業所で就労訓練を始めています。

そして入院や家族の体調不良によるサポートが必要な時には、迅速な対応ができるようにヘルパーと話し合い対応することができました。これからも、よりよい支援ができるよう努めていきたいと思ひます。

<居宅介護>	令和4年	令和5年
利用者数(人)	20	24
件数(件)	1,816	2,086



<重度訪問介護>

(契約者 1名)

重度の肢体不自由者であって常時介護を要する障がい者に、居宅において入浴、排せつ及び食事等の介護を行います。

契約者は20代の男性1名で、週1回の絵画制作の補助と週2回の朝の食事・歯みがき・更衣・服薬介助の支援を行いました。5年度は2名の交代で支援に入ることで、利用者の安心感が高まりました。筋ジストロフィーの状態が悪化している利用者の上半身のバランスを保つことで、安定して絵画制作に取り組むことが出来ていると思ひます。

これからも利用者の状況の変化に対応できるよう取り組んでいきます。

<重度訪問介護>	令和4年	令和5年
利用者数(人)	1	1
件数(件)	161	139



絵画制作の様子

<同行援護>

(契約者 29 名)

移動に著しい困難を有する視覚障がいのある方の外出・代筆・代読の支援をします。

令和 5 年度は、新規の契約が 3 名で合計 29 名となりました。昨年、20 年間利用されていた方が逝去されました。長年にわたるサポートが終了しましたが、多くのヘルパーと外出を通じてその方の生活を豊かに支えることができたことは嬉しく思います。

新たに契約された方は伊豆高原への外出が叶ったと喜ばれました。この方は登山が趣味だったので、網膜色素変性症によって制約されつつもヘルパーと浅間山への登山を目指しています。

ヘルパーの研修も、視覚障がい者同行援護従事者養成研修の取得やガイドヘルパーとしての追加研修を 2 人受けることができました。年末年始の買い物や初詣など利用者の生活にかかせない支援です。1 年間を通じて多様な支援が提供されるなかで利用者とヘルパーの関係が深まり、共に成長する機会となりました。

<同行援護>	令和 4 年	令和 5 年
利用者数 (人)	25	26
件数 (件)	1,092	1,174



支援はお買い物やコンサートなど皆さん足腰丈夫でお元気です♪

②生活介護(喜楽園)

(喜楽庭 定員 20 名、契約者 17 名)

就労が困難な 18 才以上で区分 3 以上の方を対象とした通所施設です。少人数で家庭的な雰囲気の中で、その方に合ったいろいろな活動を提供していきます。

令和 5 年度は 9 月より定員数を 10 名から 20 名に増員しました。既存の利用者さんで利用日数を増やす方が 2 名いました。U さん(男性 24 歳)は他の生活介護と併用していましたが、散歩にたくさん出掛け、ご本人ものびのびとストレスを抱えず過ごしていること、支援の仕方がご本人に適しているのご家族から評価していただき、月利用を 9 日から 23 日に増やしました。I さん(男性 57 歳)は長年併用していた就労 B 型でトラブルを抱え、高齢による作業能力の低下や居住環境の変化が重なり情緒不安定になり、就労 B を休みがちになったため喜楽園の月利用を 5 日から 14 日に増やしました。令和 4 年 4 月より利用が始まった M さん(21 歳女性)は自宅での引きこもりが続き、ほぼ 1 年間 1 日も利用することができませんでしたが、毎週欠かさずご家族と連絡を取り合い、ご自宅に伺い他機関と連携を図った結果、今年 1 月より来園できるようになりました。

皆さんそれぞれに様々な要因によって心の問題や身体的機能の低下など抱えているため、利用者さんの人数が増えたなかでも利用人数を分散させるため別棟の 1 室を利用したり、外出時も 1~2 名単位のグループに分かれたりと可能な限り個人に寄り添った支援を行って来ました。その結果 1 年を通し大きなトラブルもなく皆さん穏やかに過ごし、制作活動にも幅が広がり意欲の向上につなげることができました。

〈生活介護〉	令和 4 年	令和 5 年
利用者数(人)	17	17
件数(件)	2,268	2,376



個々に合わせた散歩コースで健康維持向上!



室内活動ではおやつ作りや昼食づくり

個人作品の制作をがんばりました♪

(3) 地域支援事業

①移動支援（地域生活支援）

(契約者 62名)

知的障がい、身体障がいの方の外出支援をしています。利用者が住んでいる地域での生活を豊かにするために、映画鑑賞やボーリングなどの余暇活動、市役所や銀行の手続き、買い物、理美容院の利用など、生活に必要不可欠な外出支援を行っています。

令和5年度の移動支援では、多くの方が楽しい外出を経験されました。特にわくわく利用中のAさんが新たに契約され、移動支援を通じてバスや電車を利用した外出の楽しさを感じていただけたことが印象的でした。またTさんもコロナ禍で控えていた外出が復活し、久しぶりのエンジョイ体操をとっても楽しみにされていた様子が伺えました。

猛暑の夏にも熱中症対策をしながら外出を計画し、多くの方が無事に遠出を楽しむことができました。7月と8月はコロナウイルスの影響で外出をキャンセルされる方が多かったです。秋以降は元気に外出を再開できました。

今後も皆さんの素敵な外出をお手伝いできるよう努めていきます。

<移動支援>	令和4年	令和5年
利用者数(人)	34	35
件数(件)	534	583



脳性麻痺の双子の兄弟です、それぞれが移動支援で外出を楽しみます♪

大道芸へお出掛けしました♪

(4) 児童福祉法

①放課後等デイサービス・児童発達支援（知的障がい児対応）わくわく

（くすくす 定員 10 名、契約者 22 名：児童発達 0 名、放デイ 22 名）

遊びや活動を通して 1 人 1 人の個性を生かし、笑顔あふれる療育を目指しています。

令和 5 年度はコロナも徐々に落ち着きを見せ始め、感染対策を行いながら、他部署との交流も増えて、笑顔の輪が広がってきたのを感じられるようになりました。利用児たちも、自ら「向こうに行こう」と他部署と一緒に遊ぶ活動を求めてきたり、以前と同じような環境下でギターレクなどを楽しみ、音楽に合わせて一緒に身体を揺らしたり、手でタッチをしたりと遊びを通じて触れ合える機会が増えました。

その他に、おやつにホットケーキ、クレープなど調理体験をし、夏祭り、クリスマス会では、雰囲気づくりから楽しもうと飾りつけ、ゲームの準備など手伝ってくれる児童もいて、るんるん(重心)と一緒にくすくす合同で楽しみを共有することができました。

また新規の利用者さんには不登校児もいましたが、保護者の方と連絡を取りながら、本人が学校や家庭とも違う安心して気持ちを開放できる場を提供できるように配慮していききました。来所直ぐは自分からの発信は少ないのですが、気持ちに寄り添い声掛けすることでスタッフの膝に座りながら活動に参加することができました。保護者の方からも「とても楽しかった様子で、帰ってくるなり話してくれました」と喜びの報告をいただきました。今後も本人の気持ちに敏感に寄り添いながら、安心して楽しめるよう支援していききたいと思います。新規の利用者さん 3 名入りしましたが、卒業生も 2 名おり、新規の利用者さんを募集するために関係機関と連絡を取り、顔が見える関係づくりに努めていききたいと思います。同時に新規のスタッフの補充も福祉フェアに参加する等、積極的に行っていきます。

<わくわく>		令和 4 年	令和 5 年
放課後等デイサービス	利用者数(人)	23	22
	件数(件)	1,788	1,769
児童発達支援	利用者数(人)	1	1
	件数(件)	231	5



様々な活動のようす

②放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護（重症心身障がい児者対応）るんるん
 （くすくす 定員5名、契約者15名：児童発達1名、放デイ10名、生活介護4名）

どんなに重い障がいがあっても、毎日活発に笑顔いっぱいの日々を過ごせるよう、個々人
 にあった支援をしています。

令和5年度はコロナの規制が解除され、人の往来が活発になって少しずつ交流が持てる
 ようになった年でした。重心の利用者は感染が大きなリスクとなるため、予防に力を入れ
 取り組みました。災害時の対応を考え、日頃からわくわくスタッフにも利用者に関わって
 いただき、お互いに利用者の様子を知る工夫をして、避難訓練・クリスマス会等を共同で
 開催し利用者同士も関わりが持てるようにしています。

クリスマス会で行った段ボール積みでは、ジェスチャーや声掛けを行いながら、利用者
 同士で協力して高く積み上げることができ、音楽やダンスを通して、お互いに楽しい気持
 ちを共有することができました。

るんるんの利用者は、中学生が増えていて、保護者の仕事や用事も多忙となるなか、学校
 看護師さんの急遽の休みで医ケア児の登校が保護者同伴でしかできなくなり、「どうして
 も仕事が休めないの放課後等デイサービスを朝から利用したい」という相談を何度か受
 けました。突発的な「困った」に寄り添い対応できたことは良かったと思っています。

生活介護は、利用者がるんるんの利用に慣れ、ペースをつかんで過ごしています。
 ご家族も「生活介護を利用できているので、家族それぞれのペースで生活ができて助かっ
 ています」という声をいただいています。

児童発達支援は、令和5年7月から新しい児童を迎え、若いエネルギーはみんなを元気
 にしてくれています。疾患も抱えているので、保護者と連絡を密にしながら、安心して過
 ぎしていただけるようにしていきます。

るんるんも、医療的ケアを必要とされる利用者が増えてきて、年齢が上がることに伴う
 障害の重症化を感じています。重度の障害を持っていても、楽しく安全に過ごせるようこ
 れからもスタッフ一同力を合わせ努力していきます。

<るんるん>		令和4年	令和5年
放課後等デイサービス (就学児6歳～18歳)	利用者数(人)	11	10
	件数(件)	784	786
児童発達支援 (未就学児0歳～6歳)	利用者数(人)	0	1
	件数(件)	0	25
生活介護 (高校卒業18歳以上～)	利用者数(人)	4	4
	件数(件)	337	329



製作がんばってます



バランスボールで遊
 んでいます



いい笑顔
 素敵



③放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護(重症心身障がい児者対応)にここ
 (くすくす2号館1階 定員5名、契約者15名:児童発達4名、放デイ10名、生活介護2名)
 1日1日を大切に、より多くの笑顔が溢れる楽しい時間を過ごせるよう努めています。

令和5年度は、コロナ対応が5類扱いになり社会が大きく動き始めました。利用児が通う学校でも、以前のような対応に戻りつつあり、事業所でも慎重に随時受け入れをさせていただきました。

ここには昨年度より計画していた、くすくす隣地への新施設建築・移転がありました。当初の予定では、コンテナハウス・プレハブの1階建てを建設する計画でしたが、協議の末、木造在来工法の2階建てを建築しました。設備面では、ご家族からのご意見ご要望を元に、屋根に太陽光パネル・冬でも暖かな床暖房・安心して入浴できる機械浴を設置しました。建物全体にオクシズ材(助成金)をふんだんに利用した素敵な建物が完成しました。12月に新しい建物に移り、12月～3月までに、施設見学・利用契約希望者等、20件以上の当初予想していた以上の問い合わせがありました。関連機関からも見学問合せがあり、改めて連携を深める機会にもなりました。新規契約者数も増えありがたい反面、今後定員変更をして新規で受け入れるためには、スタッフの拡充が必要となっています。

今後生が活介護の利用者が増える予定があり、令和5年度は1名、令和6年度には高校卒業生5名移行し6名になりました。これから、新規の利用者を受け入れていけるように、体制を整えていきたいと思います。

くすくす		令和4年	令和5年
放課後等デイサービス (就学児6歳～18歳)	利用者数(人)	8	9
	件数(件)	791	672
児童発達支援 (未就学児0歳～6歳)	利用者数(人)	1	2
	件数(件)	114	193
生活介護 (高校卒業18歳以上～)	利用者数(人)	0	1
	件数(件)	0	42



新建物完成!!大事に利用していきます。



音楽レク🎵楽しめました



開所式



色々な所へお散歩に行きました

④児童発達支援(知的障がい児対応)「のびっこハウス」

(喜楽庭 定員 10 名、契約者 13 名)

未就学の知的障がいをお持ちのお子さんが通所し、生活や遊びの中でお友達と触れ合いながら丈夫な身体を作り、基本的な生活リズムや生活習慣、コミュニケーションや社会性を育んでいます。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行して、高齢者さんとの日常的なふれあいや、季節の行事が復活し、喜楽庭内に子どもが行き来する光景が多くなり活気がもどりました。また、初めての親子遠足や参観会、学年ごとの保護者会を実施して親御さん同士の交流や育児についての学びができました。

しかし今年度も、親御さん自身が発達障がいや精神疾患をお持ちの方や、生活困窮があるなど困難さが重複しているご家庭が多かったです。更には施設から通所する児童もいて心理的なケアについても配慮し、医療機関、子育て支援課、児童相談所、保健所等の各関係機関と連携しながらサポートをしました。

そしてお母さまが子育てしきれず子ども 4 人を残して突然蒸発してしまったケースがあり、職員一同胸を痛めました。

来年度も配慮の必要なご家庭が多いため、引き続き子どもが安心・安全に過ごし、健やかに成長できるように、ご家庭が抱える背景を捉えながらご家族全体の支援をしていきたいと思ひます。

<のびっこハウス>	令和 4 年	令和 5 年
利用者数 (人)	13	16
件数 (件)	1,206	1,536



初めての親子遠足



高齢者さんとの朝の会や、ミニ運動会をやりました



紙ののり巻♪



英和の学生さんが、讚美歌を歌いに来てくれました



喜楽庭、夏祭り



大好きな、色水遊び

⑤居宅訪問型児童発達支援(重症心身障がい児対応)「のびっこハウス」

(契約者1名)

令和元年5月から24時間人工呼吸器を必要とする外出が困難な重度の障がいのある児童の居宅に訪問しています。

令和5年度は、1名の利用者が高校3年生となり居宅訪問型児童発達支援を利用するのが最後の一年となりました。今年で最後なので本児の好きなこと・ものを取り入れながら誕生日やハロウィンなどの行事を楽しみました。製作では、大好きなゲームをやることで手や足の指先がよく動くようになってきたので指スタンプや、一緒に引っ張りっこや握ったりしながら感触を楽しんだり、手足を動かして製作をしながら季節を感じました。

秋ごろから訪問学級も居宅訪問型児童発達支援も終わってしまい、楽しみがなくなる、せっかくできた繋がりがなくなってしまうのは寂しい、来年度どうしよう？と相談がありました。「出来たらこのまま実費でも来てほしい」というお話があり令和6年度からは、居宅介護として同じスタッフが訪問することになりました。引き続きこの出会いを大切に、本人の支援とご家族に寄り添っていきたいと思います。

〈居宅訪問型児童発達支援〉	令和4年	令和5年
利用者数(人)	1	1
件数(件)	37	51



父の日の制作



端午の節句、ハロウィン



居宅訪問型児童発達支援、卒業。おめでとう

(5) 本来事業（助け合い事業・制度外）

①家事支援・介護全般訪問

(登録者 337 名)

本来事業は、生き生きネットワークの前身である“働く母の会”から変わらず、「困った時伺います」の考えの元にある助け合い活動です。家事のお手伝いや、ベビーシッター、一緒に外出に行って欲しい、などさまざまな依頼にお応えします。

令和5年度は、レギュラーの件数は少ない状態でしたが、急な困りごとの依頼や相談は定期的にありました。

昨年の依頼で多かったものは、急な困りごとでした。母子家庭や、一人で子どもの世話をしている方などで、普段はなんとか生活をしているが、自分が病気で動けない時や緊急時に頼る人がいない、施設で育ったので親がいない、親から逃げてきたので帰れない、どうしようといった緊急な依頼もありました。そしてベビーシッターを依頼されるお子さんで発達障害のお子さんも増え、小学校高学年だけ一人で家に置いておけない、短時間だけベビーシッターに来てほしいという話もありました。

高齢者のみの世帯や独居の世帯も増えている中で、病院の付き添いや庭の草取り、大型家具や家電の処分などを頼まれることも増えました。白内障の手術を控えた独居で身寄りのない方が、家族や誰かと一緒に来てくださいと病院に言われて困っている、最近の病院は自動会計やマイナンバーカードなど、分からないことが多くて不安、などといった声がありました。ヘルパーさんに同行してもらうことで、安心して病院に行けて嬉しい、手術できてよかったと言っていました。

家具の処分の依頼では、まだ使える家具などは生き生きのフリーマーケットに出させてもらったり、リサイクルに回したりもしています。これからも様々なことが起こり、その時々で判断をすることがあります、多角的に柔軟にお応えできるように努力していきます。

〈家事支援・介護全般訪問〉	令和4年	令和5年
利用者数（人）	85	81
件数（件）	2,270	1,990



コーディネーター



4兄弟みんなベビーシッターしてきました、4男です♪

②託児ルーム「エンジェルハウス」

(喜楽庭 定員8名)

エンジェルハウスは、短時間からお子様をお預かりする託児ルームです。

令和5年度は、月決め利用2.3名程度で毎日を過ごしました。1.2歳と年齢が近いので、発達や興味があることや体力も同じくらいで、それぞれに合わせてゆったりと過ごすことが出来ました。コロナが5類になり喜楽庭全体の合同行事も夏祭りやクリスマス会、新年会など感染症の流行の様子を見ながら再開してきました。少し小さめな子ども達だったので、のびっこハウスや高齢者さんと積極的に活動するというよりは、お兄さんお姉さんに一緒に遊んでもらったり、一緒に参加させてもらい雰囲気を楽しませてもらうことが多かったです。その中でも年度後半にはお庭で遊んでいる時に、高齢者さんが外に出てきて下さり、一緒にボール渡しをしたり、朝の会のうたの手拍子や一本締めが上手になったりと、少しずつ関わりを持つことが出来ました。これからも子どもの年齢や人数にもよりますが関わりが持てるようにしていきたいと思えます。

一時預かりの利用者は、コロナ禍があけて前年度より増加しました。継続的に利用しているお子さんは少なく、その日、その月だけ困って利用している方が多い傾向にあります。ドリーム会員に以前から登録していざという時に利用する方もいれば、急に困ったから登録してすぐ一日だけ利用される方も多くいました。これからも困った時に預けられる、家庭的であたたかい託児ルームでありたいと思えます。

<エンジェルハウス>		令和4年	令和5年
利用者数(人)	月決め保育	7	5
	一時預かり	15	20
	計	22	25
件数(件)	月決め保育	695	533
	一時預かり	66	122
	計	761	655



桜の下で
ハイチーズ



お友達と一緒に、うれしいね



「100歳おめでとう」



カブトムシ・水・クリスマス季節を楽しんだよ

③リフォーム部

リフォーム部は、専門的な清掃、修繕等の家庭内の困り事に対応しています。現在はつばさ静岡さんなどの定期清掃を主に不定期清掃も行っています。就労支援にもなっています。

令和5年度は事業所内施設の管理者・職員とコミュニケーションを密にとり、修繕箇所や補修など環境整備に努めました。台風や家屋の老朽化の影響で雨漏り床補修などが多く、リフォーム部でお願いをしている業者さんに協力をしてもらい修繕してもらいました。

定期清掃の物件ビルからは、今回大規模な改修工事をしたため、テナントの高所窓清掃・工事後の仕上げ清掃、長年の汚れが付着していた外階段洗浄を依頼したいと連絡があり、業者さんと連携しておこないました。

毎日清掃を行っているつばさ静岡さんからは、建物が出来て何年か経ち、クロスのはび割れや剥がれが目立ってきてしまい、補修ができないか相談がありました。業者さんと協力して今後施工をしていく予定です。

毎回依頼がある清掃現場や、不定期で依頼される清掃現場には、今後現場のフォローアップ要員になれるように、他部署職員にも声を掛け一緒に行ってもらいました。

年末年始の清掃も、依頼が集中しないよう、時期をずらしていただき、混雑することなく対応ができました。

今後もいろいろなニーズに沿った仕事ができるように、協力業者さんとも連携を密に、丁寧な仕事ができるよう心掛けていきたいと思えます。

<リフォーム>	令和4年	令和5年
清掃部門 (件)	135	130
工事部門 (件)	3	5



雨漏り修理調査をして修繕していきます
今回は大きく穴が開いていた為、塞ぐ工事をしていただきました



くすくす2号館、完成後清掃に入りました

特別清掃も綺麗に仕上げさせていただいています

④みんなの居場所&こども食堂「もぐもぐキッチン」

令和5年度も地域の方々にお弁当作りで喜んでいただきました。

イトインにしたいと昨年度より考えていましたがお弁当のご要望が多く、なかなか踏み切れずにいます。イトインにはいつになるのか、メニューはどんなものにするかなどの質問をいただくことがあります、具体的なことが決まっていないのでお答えに窮することがありました。

お弁当を買ってくださる方のなかには、メニューも見ずに買っていかれる方が多く、電話注文もメニューを聞かずに予約してくださる方もいました。もぐもぐのお弁当なら何でも安心だからとおっしゃってくださり、やはりお弁当をすべてやめてしまう訳にもいかず、悩みました。

元々、私達がお話相手として店に立ったりして来られた方々の困ったことや、楽しい話などをお聞きする場でした。居場所としての立場も考え、お子様の来やすい場としての方向性を考えていました。これからもその思いに変わりはありません。

以前のような形にはなれませんが、地域の方々に信頼を得られた今、食を通して皆さまと共に歩んでいきたいと思えます。



⑤福祉有償運送

公共交通機関をひとりでは利用しにくく、活き生きネットワークの会員登録と静岡市福祉有償運送会員登録をされた高齢者(介護認定を受けている方)、障がい児・者(手帳保有者)を対象に、必要な場所への移送を行っています。

令和5年度は活き生きネットワークの事業所更新の年でした。更新のため運営協議会での承認が必要になり参加しました。会議には公共交通機関・福祉団体の代表者が集まり、有償運送事業が適正であるか審議されました。後日協議が整った書類が届き、中部運輸支局に更新申請書類を提出させていただきました。更新に伴い、市より今後の運送対価を見直し、上乘せする仕組みを検討していると教えていただきました。今後運送対価の改善が期待されます。

令和4年度の道路交通法改正で、活き生きネットワークは特定事業所に該当することになり、安全運転管理者は、運行管理者等一般講習も今後必要になるので、安全運転管理者講習とあわせて受講していくことになりました。

コロナ禍の影響で中止されていた、新規の運転協力者講習会が、5類に分類されたことで、再開されました。活き生きからも2名の新規運転者が受講をして、市へと登録しました。そして旅客も今まで自粛をしていた場所へ行けるようになり、以前のように利用をされ始めました。また有償運送団体として事業所登録をして18年経ちます、その間一度も乗車中の事故は起こしたことはありません。これからも安全運転に努めて運行していきたいと思えます。

<福祉有償運送>	令和4年	令和5年
会員登録者数(人)	37	34
運転協力者数(人)	21	18
車両数(台)	6	6

運送目的別 件数	通院	115	114
	通学	38	47
	その他	179	176
	合計	332	337



出発前に健康状況確認、アルコールチェックをします
透析のため施設から病院まで利用しています



余暇活動、行きたい所へ行けて嬉しいです♪

(6) 委託事業

①静岡市緊急サポートセンター事業（静岡市子ども未来局子ども未来課）

病気のお子さんの預け先がなくて仕事を休めない時や、急な残業で保育園のお迎えや、その後のお世話ができない時など、働く親御さんの困りごとをサポートします。支援するまかせて会員の養成、まかせて会員をコーディネートして自宅に伺います。

令和5年度、出張登録会では今まで開催できなかった交流会を行い、リユースの子ども服を持ち寄っていただいたり、子どもが喜ぶゲームをしたり和やかな会となりました。

まかせて会員さんの研修会は、6/28～7/7、11/22～12/18の2回開催しました。新規のまかせて会員さんは、1回目4名、2回目6名の計10名が登録してくれました。

5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月から「5類感染症」となったことで、さまざまな感染症が流行し始め、病児預かりの依頼数は299件と前年度の2倍以上の依頼がありました。

インフルエンザや溶連菌感染症、ヘルパンギーナ等の感染症が流行り、今まで1度も利用されなかった方や、普段あまり利用のない小学生の依頼も、インフルエンザのため利用したいと緊急サポートを思い出していただき、利用されました。

コロナ以降おねがい会員さんの働き方も変わり、在宅ワークやリモートをされている方が増えました。その為、体調の悪いお子さんが家族の姿を見てしまったり、ずっと近くにいることで泣き止まないとまかせて会員さんから相談を受けることも増え、子どもの負担にならないようサポートできる方法をお願いしたりしました。

サポート利用料は、長時間利用になれば高額になるため、短時間の利用にしたいという希望も増えました。両親の仕事が以前に比べ休みやすい傾向にあり、どうしても困る時間のみサポートしてほしいと依頼されることが増えました。支援後のアンケートは「本当に助かりました。まかせて会員さんに子どもが懐いて安心して預けられました。また困った時に助けていただきたいです」との返信をいただき、緊急サポートの必要性を感じています。

<緊急サポートセンター>	令和4年	令和5年
おねがい会員（人）	1,498	1,470
まかせて会員（人）	200	210
計（人）	1,698	1,680
サポート実件数（人）	119	299



支援スタッフ研修会



出張登録会の様子



サポート中です

②静岡市清水病児・病後児保育室「虹いろ」（静岡市子ども未来局こども園課）

定員 3 名（緊急時 4 名迄）

静岡市から委託を受け、清水区天神にて運営しています。お子さんが病中または病後であり、保護者が就労等の理由で保育が必要になった場合に、お子さんをお預かりして必要な看護や保育を行っています。

令和 4 年度よりも新規利用人数が増え、コロナ禍以前の人数に戻りました。春や秋には季節外れのインフルエンザ疾患による利用が続き、ワクチンの効果が薄れる時期の預かりには職員の感染予防についても十分な注意を払いました。

令和 5 年度は、昔から利用していた子たちが卒園を迎え、小学生になると利用も少なくなるため、感謝の言葉をいただく機会が多くなりました。0～1 歳児の頃に県外から越してきたという方からは、「虹いろがなかったら、ここまでやれてこれなかった」という切実な声をいただきました。慣れない土地で、初めての子育てと仕事に不安を抱えながら奮闘するなか、体調不良でも嫌がらずに笑顔で虹いろに足を運んでくれる子どもたちが、お家の方だけでなく、私たち職員にも希望を持たせてくれました。それから数年が経ち、静岡の土地にも子育てにも慣れて余裕を感じる保護者の方がたや、心も体も強く丈夫になった子どもの姿を見ると、病児保育での仕事にやりがいを感じる事ができました。

毎年夏になると南側静養室のエアコンが効かず様々な対策を講じましたが、効果が見られなかったため静岡市長宛に要望書を提出し、エアコンの入れ替えをしていただきました。また、11 月には静岡市保育課から病児保育室で利用者の送迎ができないかと提案があり、意見交換の場が設けられました。

<虹いろ>	令和 4 年	令和 5 年
利用者(人)	75	107
件数(件)	328	337



いってらっしゃ〜い!



たくさん眠って元気になってね。



手洗いは念入りに。



ゴミ箱に興味津々!



神経衰弱、真剣です。

2. 人材育成・能力向上支援

①いきいき研修会

いきいき研修会は、月1回スタッフを対象として取り巻く環境の変化、業務に関わる知識・技術等について学ぶ内部研修会です。研修後のレポートで学んだことを活かしています。内容に応じて、全体研修・部門研修(高齢者・障がい者・子育て部門)等に分けて要望が多かったテーマで理事さんや外部講師等の方々と連携して開催しました。職員が集まり易いよう、多目的室・喜楽庭・アイセル等、子供連れでの参加やリモート形式も取り入れて行いました。コロナ感染状況に応じて8回開催しました。

*4月14日「令和5年新年度にあたって、部門別課題について」

- ・代表理事・各部門、喜楽庭、36名
- ・令和5年度業務計画について、代表理事・及び各部門リーダーより活動計画について発表がありました。

〈受講後のレポートより〉

令和5年度の活動計画を各部門担当より具体的に聞くことができ刺激を受けました。「創めることを諦めなければ心の若さは続く」を心に留めて、発足40周年NPO法人設立25周年のチェンジの年の一員として活動を進めていきたいと思えます。難航していた新施設の建築案を見て、より良い施設になる期待が膨らみました。

*5月19日「ケア職に期待される自己覚知演習」

- ・飯塚哲男講師、アイセル、36名
- ・「他者への共感を通じて、自己覚知(自分を知る)が深まる演習を行った。自分の個性、考え方、認知の傾向を知り、コントロールスキルについて解説して頂きました。

〈受講後のレポートより〉

自己覚知のグループワークでは、自分や仲間のことをより知るきっかけとなりました。ケア職にとって、自分に向き合い振り返ることの大切さを痛感しました。

*6月16日「支援学級教諭の体験談」

- ・市川雅康講師、喜楽庭、43名
- ・特別支援学級で少し苦戦している児童に対し、個別的な教育を行う上で必要なご家族や多職種と連携する上で、大切にしていることを体験的にお話しいただきました。

〈受講後のレポートより〉

ユニークパーソンの考え方に対して“おかしい”と決めつけたり偏見を持ったりしないで、「自分にはない価値観や発想の存在に気付くこと」がすごく腑に落ちました。

*9月22日「会議ファシリテーター実践講座」

- ・小野寺郷子講師、アイセル、29名
- ・生き生きネットワークの節目の年、SDGsが目指すビジョンについて解説いただき、生き生きネットワークの社会貢献活動についてファシリテーションで意見交換しました

〈受講後のレポートより〉

SDGsのお話では、改めて時代の変化を再確認し、“特にSDGsを自分ゴトにする”という言葉が印象に残りました。生き生きネットワークの良いところを残しつつ変革していくために、意見を出し合いながら組織の中で今日の研修を活かしていきたいです。

*10月20日「虐待防止研修」

- ・飯塚哲男講師、喜楽庭、38名
 - ・活き生きネットワークでも虐待・拘束を防止する職場環境をつくる法人指針とチェックリストを作成しています。その内容を確認しながら、それでも知らず知らずに当事者となっている虐待・拘束のグレーゾーンの事例から予防対策を解説いただきました。
- 〈受講後のレポートより〉

無自覚なうちに不適切なハラスメントケアとなって、SNS等で拡散しわが身に降りかかるという怖さを実感しました。相手を尊重したマナーを常に注意しケアします。

*11月17日「部門別意見交換会」

- ・各部門、喜楽庭、41名
- ・グループに分かれて、事故・ヒヤリハットの事例をもとに、再発防止策等について意見交換・情報交換をしました。また、BCP計画の内容と活用について話し合いました。

*12月8日「介護保険制度改正に向けた準備」

- ・及川ゆりこ講師、くすくす2号館多目的室、27名
- ・現段階での制度改正の情報について解説いただきました。介護分野の深刻な人材不足対策、報酬改正の方向性について、及川さんの考え方についてお話をいただきました。

〈受講後のレポートより〉

介護ニーズの急増と労働力確保に向けた職場改善の取り組みをどう進めていくか？さまざまな課題に取り組みながらちよつとずつ乗り越えていくことで、より良い介護につながっていけるようアンテナを高くしていきたいと思えます。

*令和6年3月22日「毎日にここにご機嫌…笑いヨガ」

- ・木下尚子講師、アイセル、31名
- ・コミュニケーションの幅を広げる気づきを得られ、心身の健康をつくることのできる「笑いヨガ」の楽しさを体験しました。

〈受講後のレポートより〉

年度末で業務に追われているなか、楽しくリフレッシュできた研修会でした。いつもの座学と違ってストレッチできて気持ちよい研修会でした。



いきいき研修会のようす

②資格取得・外部研修の支援

職員が介護等の実践的な知識と技術を習得し、現場の実務に活かすことができるよう団体として支援を行っています。職員の申し出等により、資格取得支援、外部研修参加の奨励・支援をしました。

＜資格取得者＞

令和5年度資格取得は5名でした。

児童発達支援管理責任者基礎研修(1名)、 同行援護従業者養成研修一般課程(1名)
同行援護従事者養成研修追加課程(1名)、 児童発達支援課管理責任者基礎研修(1名)
相談支援従事者管理責任者研修(1名)

これにより、職員102名(正規29名、パートアルバイト73名)の介護福祉資格の保持者は以下の通りとなりました。

介護職員初任者研修76名、介護福祉士24名、保育士19名、実務者研修5名、
幼稚園教諭7名、ケアマネジャー3名、社会福祉士2名 他

＜外部の関連機関等が開催する研修会・催事等に参加＞

地域のNPO・福祉関連団体、行政機関等が開催する研修会に参加しました。福祉NPOを取り巻く環境変化に対応していくことができるよう参加を推し進めています。

せいしんビジネスクラブ経営研究会	城東安東地区セミナー相談会
訪問看護ステーション研修	小児訪問看護研修会
2024年度介護報酬改定研修	女性活躍加速化フォーラム
認定NPO法人市民福祉団体全国協議会	高次脳機能障害研修会
児童支援従事者養成研修	静岡市障害者協会強度行動障害研修会
同行援護業務養成研修	静岡県重症心身障害児者対応多職種連携研修
ケアマネ協会スーパービジョン研修	静岡市障がい児通所介護事業所連絡会
静岡市障害者協会防災福祉シンポジウム	医療的ケア児等コーディネーター研修会
静岡県肢体不自由児協会療育指導者講習会	静岡ケアマネット協会地域事例研究
白萩病院地域リハビリテーション研修会	安東地区自治会連合会安東夏祭り参加出店
城東地域包括支援センター民生委員とケアマネジャー会	

③外部の委員会等への参加、講師派遣

NPO・福祉関連団体等が主催する協議会・連絡会のメンバー会員として参画し、各分野の関連機関の方々等との情報交換、意見交換に参画しています。リモート参加の委員会も増え、業務の合間での参加もし易くなっています。

また、安東地区の関連機関の行う交流催事に積極的に参加しました。

＜外部委員会、協議会メンバー＞

SSC(ShizuokaSDG s Community)情報交換会	安東地区福祉推進協議会
静岡市障害者自立支援協議会こども部会	静岡市社会福祉協議会評議員会
静岡市障害者協会会員	静岡県訪問看護ステーション協議会
静岡市番町市民活動センター入居団体審査会	静岡信用金庫総代会
静岡市番町市民活動センター運営委員会	(学法)国際ことば学院(監事)
静岡県肢体不自由児協会理事(理事)	しずおか男女共同参画推進(専門部会)
福祉移動サービスネット静岡(監事)	(特非)静岡県ボランティア協会理事会(理事)
静岡県立大学講師(静岡の市民活動)	ケアマネ地域ケア会議
静岡市障がい者協会作品展審査員	静岡市医療的ケア児等支援協議会
児童発達支援連絡協議会こども部会	静岡県男女共同参画推進会議全体会
静岡市子育て支援協議会	安東地区自治会連合会
その他	

④ボランティア体験・実習生、見学の受け入れ対応

NPO・関連機関と連携して、実習生・ボランティア体験等の受け入れを行いました。現地でオリエンテーションと施設見学をし、有益な体験につながるよう対応をしました。また、常葉大学保育実習生1名、静岡高校定時制生2名の福祉体験の受け入れを行いました。

静岡県ボランティア協会との連携でサマーショートボランティア5名の受け入れをしました。当初13名申し込みがありましたが、コロナ第8派の影響で夏休みが始まったところで中止となりました。夏休み福祉体験（市社協）も、利用者のご家族・会員さんのご紹介8名の参加がありましたが途中で中止となりました。



実習生・サマーショートボランティア体験の様子

3. 理事会・総会、安全衛生委員会等

① 総会・理事会

総会は、議決権を持つ正会員（理事、評議員等）により、定款に定められる事項の議決を行っています。通常総会は事業報告及び活動決算報告案（毎年6月）、予算総会は、事業計画及び活動予算・補正予算案等（毎年3月）の議案について審議しました。理事会は、理事及び評議員等により毎月定例開催しました。

- ・奇数月は、理事・評議員全員による報告事項・審議事項（土曜10時）の検討、偶数月は、理事・評議員（外部の方）による審議事項・情報交換（木曜18時30分～）
- ・令和5年度は12回開催しました。

4月27日（木）理事会（喜楽庭 18:30～20:00 20名）

○協議事項

(1) 新施設建設計画案について

くすくす隣地土地に建設する新施設建設に係る工程、ならびに図面計画について説明があり検討審議しました。

5月27日（土）理事会（アゼル 10:00～12:00 25名）

○報告事項 ・部門別活動報告（4/21～5/26）

○協議事項

(1) 「発足40周年・NPO設立25周年記念行事」準備について。

これまでの記念式典の内容を踏まえ、この記念行事のありようについて意見交換しました。会場選定の準備を進めることになりました。

6月24日(土) 理事会・通常総会(ハガサト 10:00~12:00 32名)

- 理事会にて、通常総会議案にかける議案について報告し承認された。
引き続き通常総会にて「令和4年度事業報告案、決算報告案」議案の内容について代表理事・担当より説明し、質疑応答の後、議長が議場に諮り承認されました。
 - ・第1号議案 「令和4年度事業報告案」承認の件
 - ・第2号議案 「令和4年度決算報告案(監査報告)」承認の件

7月29日(土) 理事会(アテル 10:00~12:00 24名)

- 報告事項 ・部門別活動報告(5/28~7/28)
- 協議事項 (1) 記念行事について
記念式典等の概要について意見交換した。複数の会場候補を検討しました。地域のNPOやご近所の方々との共同で開催することになり、新建物を含めた会場について改めて、理事会等で相談することとなりました。

8月24日(木) 理事会(わくわく 17名)

- 協議事項(1) 新施設の名称について
新建物の名称について、複数案から審議し「くすくす2号館」となりました。

9月30日(土) 理事会(アテル 24名)

- 報告事項 ・活動状況報告(7/30~9/29)
- 協議事項 (1) くすくす2号館開設準備について
建物引き渡し11月6日、開所式11月26日、ここにこ内覧会11月26日~27日に決定し、開所式・内覧会の内容について話し合いました。

10月26日(木) 理事会(わくわく 16名)

- 協議事項 (1) 記念式典取り組み準備について
くすくす2号館・駐車場・隣接くすくす等を会場として、記念式典とふれあい交流会の2部構成で行うプログラム内容について意見交換しました。

11月25日(土) 理事会(多目的室 26名)

- 報告事項 (1) ここにこ開所式・内覧会の準備報告
- 協議事項 (1) クラウドファンディングの取り組み検討について
新土地及びくすくす2号館の資源活用方法や、さまざまな資金調達方法について説明し情報交換しました。

12月21日(木) 理事会(多目的室 12名)

- 協議事項(1) 記念式典の会場レイアウトについて
会場レイアウトについて、開催時間帯・内容等と照らして検討しました。

1月27日(土) 理事会(多目的室 25名)

- 報告事項 ・活動状況報告(11/26~1/26)
 - ・令和6年行事 研修・会議スケジュール
- 協議事項 (1) 記念式典・ふれあいフェスティバルについて
記念式典・記念DVD・記念誌の準備状況について報告しました。記念式典・ふれあいフェスティバルは2号館全体(くすくすも)招待者等約80名収容となることを説明し、具体的な受け入れ方法等について話し合いました。

2月17日(木) 理事会(多目的室 22名)

○報告事項 ・活動状況報告(1/27～2/16)

○協議事項 (1) 記念式典・ふれあい交流会の確認

記念式典・フェスティバル参加者の内容、及び参加者状況報告、スタッフ応援等、具体的に検討しました。

3月30日(土) 理事会・予算総会(多目的室 25名)

○理事会にて審議可決後、予算総会に同一議案について付議・決議しました

- ・第1号議案「令和6年度事業計画案」承認
- ・第2号議案「令和5年度補正予算案」承認
- ・第3号議案「令和6年度当初予算案」承認
- ・第4号議案「定款変更案」承認
- ・第5号議案「理事及び監事案」承認

各議案の内容について代表理事・担当理事等から説明し質疑応答の後、議長が議場に諮り承認されました。



6/24 通常総会(ペガサト)



3/30 予算総会(多目的室)

②安全衛生委員会

安全衛生委員会は、労働安全衛生法に基づき職員の安全と健康の課題や要因等について情報を共有し、快適で安全な職場環境に改善を進める委員会です。

* 職員の健康状況(職場巡回、健康チェック等)、ヒヤリハット報告と再発予防、職場環境補修、健康診断結果等の案件を持ち寄り 13 回開催しました。また、事故・苦情、感染症陽性者発生 の情報を得たら、委員・産業医、担当部門等と迅速に状況について確認し、随時、情報を共有し対応策について検討を進めてきました。

*4月10日(月)

退職者等による人手不足の部門(職種)の業務フォロー、職員の健康状況について情報交換・意見交換をしました。感染症5類移行後も基本コロナ対策を継続することを確認しました。

*5月8日(月)

職員の健康状況では、業務中に緩慢な様子が見受けられる新入職員、メンタル低調で休職中職員の経過状況について情報交換・意見交換しました。

送迎バス置き去り防止安全確認方法(静岡市)、自衛避難訓練の実施届け出(千代田消防署)について報告しました。また、喜楽庭開催の運営協議会に寄せられた、ご家族からの改善要望(塗り薬措置等)への対応方法の課題について協議しました。

***6月12日(月)**

コロナ感染症陽性者は、5類移行後収まっていますが6月下旬～職員6名が陽性となりました。療養推奨(5日間)を目安にしながら、個人差のある回復状態を観ながら、復帰判断を進めることとしました。また、さまざまな感染症に有効な基本感染対策「手洗い、うがい、マスク着用、換気、健康管理」を継続していきました。

職員の健康状況では、健康状況に懸念を感じられた中途職員(試用期間)に対し、産業医による個人面談の報告をいただき、本採用に向けた対応について確認しました。

***7月10日(月)**

送迎バス置き去り防止システムを設置し、その取扱い周知について報告を受け、順次導入について確認しました。また、職員本採用時に、健康状態の個人情報(病歴等)についてどう把握していくか相談しました。

***8月7日(月)**

夏休み期のコロナ感染症第8波により、職員11名が陽性となりました。療養推奨(5日間)の職場復帰の個別状況について情報交換しました。

職員の健康状況では、勤務中の怪我3名(打撲・擦過傷・足指骨折)がありました。怪我の状態に影響のないよう業務軽減について情報交換しました(労災対応)。

***9月4日(月)、11日(月)**

臨時委員会を開き苦情対応について検討しました。水遊び中の利用児がアルバイトスタッフに向けて放水し、隣のアパートの玄関に水が流れ靴・傘立てを濡らしたというものでした。迅速に苦情対応を行いました。結果として現場スタッフに連絡が徹底されず、翌日、現場ミーティングで情報伝達方法等、再発防止策の共有をしました。

***10月23日(月)**

職員の健康状況では、通院治療中の職員(5名)に対し、産業医による個人面談等の報告をいただき、治療経過と業務状況について話し合いました

***11月13日(月)**

利用児・者のインフルエンザ 感染増の対策(10～11月8名)。インフルエンザとコロナ感染を広げない注意点について話し合い、感染対策の確認をしました。

***12月18日(月)**

職員の健康状況では、定期健康診断での要再検査判定者の再検査と結果報告。また、昨年手術し復帰している職員の経過についても報告をいただきました。

***1月13日(月)**

12月で退職者2名(パート)、1月で1名(正社員)が報告され、人員確保の方法について情報交換・意見交換しました。安全運転管理者によるアルコール検知器での酒気帯び確認が義務化され、業務開始前後のアルコール検知を始めることとなりました。

***2月26日(月)**

必要な施設修理の要望について検討しました。順次営繕・修理工事を始めました。喜楽庭の裏口門扉・床面工事、トイレ天井雨漏り、成人部居間床、くすくすトイレ交換等の工事見積もり等、進めていくことになりました。

***3月18日(月)**

職員の健康状況では、昨年から休職中の職員の治療経過について報告いただき、主治医の診断から職場復帰受け入れについて意見交換を行いました。ケアマネ・訪問看護部門の事務所の移動の検討をしました(もぐもぐ上階から旧にこここ跡に)。

③連絡調整会議

*連絡調整会議は、各部門(18部門)の連絡報告、相談事項情報を持ち寄り、情報交換・意見交換により、部門間の連携・協力がスムーズに行えるように進めています。

月1回年12回開催しました。

*事務局会議を随時開催し、全員で運営対策等について情報共有を図りました。

4. 主催行事、情報発信活動、SDGs 参加

①発足40周年・NPO法人認証25周年記念式典（ふれあいフェスティバル）

発足40周年・NPO法人認証25周年記念式典・ふれあいフェスティバルを2月25日(日)に行いました。式典では、ご参列の方々から心温まるお言葉をいただきました。小さいながらも生き生きらしい式典ができたことを嬉しく思います。ふれあいフェスティバルの出店ブースでは、NPOのお仲間、近隣のお店の方々に出店のご芳志をいただきました。パフォーマンス会場でも英和女学院音楽部さんによる合唱披露など、終日、多くの方々のご協力で執り行わせていただくことができました。皆さまから、寄せられたご厚意に厚く御礼申し上げます。



2/25 第1部記念式典



2/25 第2部ふれあいフェスティバル

②交流行事の主催

*令和5年度は、4年ぶりに恒例の交流催事、クリスマス会、交流運動会、研修旅行が復活しました。夏休み期までのコロナ第8派が沈静化した秋口から順次、要望の多かった交流催事から再開しました。

- ・9月17日 交流運動会(99名、シズウェル)
- ・10月8日 ワーカー親睦日帰りバス旅行(浜松、41名)
- ・11月11日 フリーマーケット(駐車場)
- ・12月17日 クリスマス会&森圭一郎Live(Tembooo、95名)

*第20回交流運動会は午前中だけのミニプログラムで行いました。4年ぶりということもあって元気溢れる運動会となりました。会員さんご家族、障害を持つ方、お子さん達、皆さんが頑張るようすに笑顔と感動いっぱいの運動会となりました。



9/17 交流運動会(シズウェル体育館)



10/8 ワーカー親睦日帰り旅行(浜松)



11/11 フリーマーケット



12/17 クリスマス会(Tembooo)

③ 自衛消防活動

甲種防火管理者8名による施設ごとの自衛消防隊が編成され、各施設のコロナ禍での避難訓練・安全確保等の訓練を所轄消防署に届け出し実施しました。

コロナ禍での自衛消防避難訓練を施設ごとに2回(毎月実施部門もあり)実施しました。災害発生時に避難する際、安全確保・感染防止を考慮した訓練を行いました。4月は、ケア支援中に地震が発生した想定での安全確保する訓練、11月は、施設・避難所での一時滞在避難を想定した訓練(備蓄品・発電機・防災テント設営)でした。

また、停電・断水時の必要な備蓄品の補充をしました(ソーラー発電機、簡易テント、水・食料・毛布等)。いつ起こるか分からない自然災害(地震・台風・豪雨等)を災害BCPと関連づけて、利用者安全確保を想定した訓練と対応を続けていきます。

④ 情報発信・広報活動

会員の皆様・ご支援いただいているお仲間等に活動の様子や予定等をお伝えし、活き生きネットワークの活動をより身近に感じていただくよう、定期的に発信しています。

* 発足 40 周年・NPO 法人認証 25 周年記念誌記念 DVD を発行しました。

* ホームページをリニューアルし記念 DVD・記念誌を公開しています。ブログ更新 13 回

* ほっと通信 No125～129(4/5、6/10、8/25、10/25、1/25)を発行しました。

* 緊急サポート機関誌「かけつけ TAI」を発行しました(1/24)



記念誌



記念 DVD



ホームページリニューアル



緊急サポート新聞かけつけ TAI

* SDGs 宣言事業所活動

国連が提唱する「SDGs のゴール(だれ一人取り残さない)」の理念は、活き生きネットワークの「お一人おひとりがその方らしく活き活きと生きるためのお手伝い」と目指す方向が一致するという事で、令和 2 年度に静岡市 SDGs 宣言 (5 分野) に参加しました。

SDGs5 分野の開発目標については、令和 5 年度事業計画と関連付けて活動目標を設定しました。年度計画達成により、持続可能な地域社会の実現への取り組みとして活動を進めました。

静岡信用金庫さんの Shizuoka SDGs Community (SSC) の発足に参加し、SDGs 宣言事業所と連携し SDGs の普及活動等に協力しています。

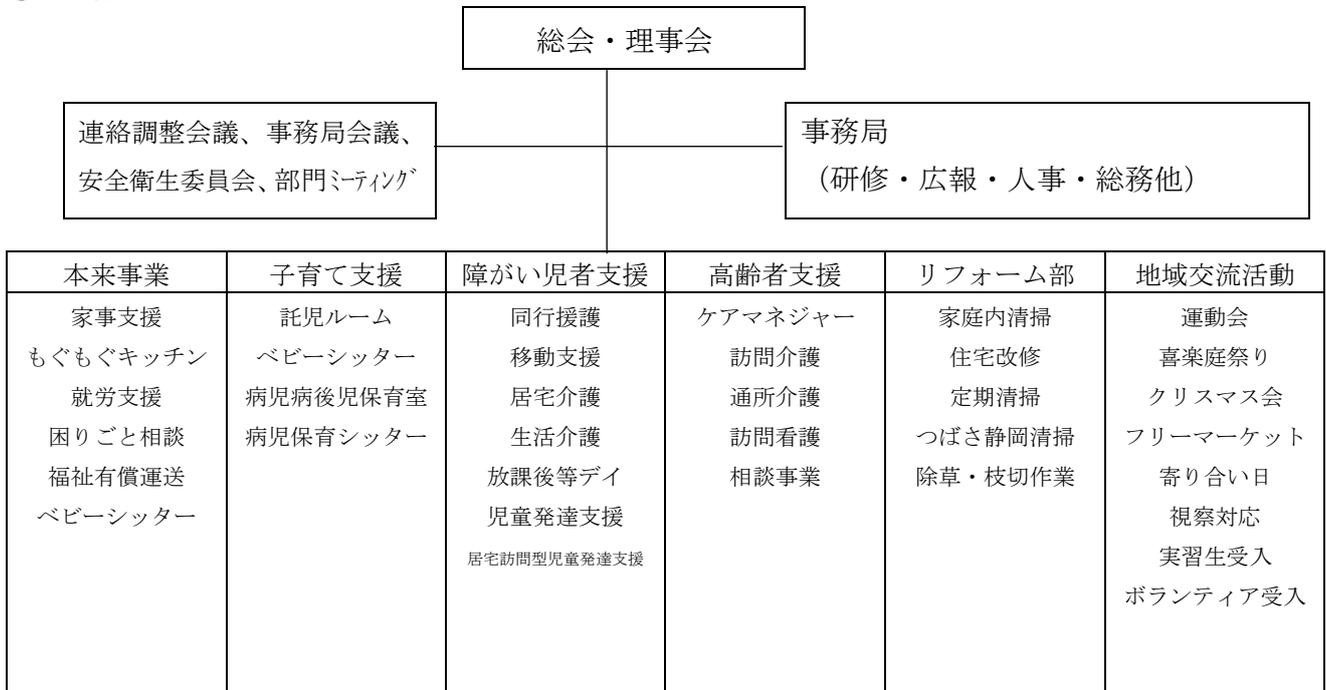
〈活き生きネットワーク静岡 SDGs 宣言 (5 分野)〉

- ・分野 2 飢餓をゼロに
- ・分野 3 すべての人に健康と福祉を
- ・分野 5 ジェンダー平等を実現しよう
- ・分野 11 住み続けられる街づくりを
- ・分野 17 パートナリシップで目標を達成しよう



5 会員数・利用者数

① 組織図



② 会員数・寄附者数

(人)		令和3年	令和4年	令和5年	
会員	正会員	52	52	52	
	賛助 会員	ドリーム会員	360	330	321
		ワーカー会員	125	123	129
		団体会員	3	2	2
計		540	507	504	
寄附者	(人)	110	255	172	



ワーカー会員さん



正会員さん